

## 新型コロナウイルスワクチンの有効活用について

令和3年6月1日  
健康部

新型コロナウイルスワクチンの集団接種については、これまで急なキャンセルが発生した場合、陽性者等と直接接する保健所保健師等にワクチン接種をすることで、ワクチンを廃棄することなく、その有効活用を図ってきたところである。

今後、集団接種を拡大していく予定であるが、拡大に伴い急なキャンセルもより多く発生するおそれがあることから、さらに有効活用できる仕組みを検討していく必要がある。

そこで、本区においては、接種対象者、接種対象職場、接種方法等を定めた上、接種会場ごとのキャンセル待ちリストを作成していくことで、さらなるワクチンの有効活用を図る。

### 1 接種対象者の条件

- (1) 本人が接種を希望していること
- (2) 当日一定のキャンセル数が把握できる概ね午後4時以降に連絡を受けてから、1時間程度で接種会場に到達できること

### 2 接種対象職場とその優先順位

新型コロナウイルスへの曝露の機会が多い直接処遇職場から優先順位を定めることを基本的な考え方とする。

#### 【優先順位】

- (1) 保育園（0から2歳児クラス担当者）等
- (2) 障害（児）者施設、保育園（上記以外の者）、幼稚園等
- (3) 小中学校、児童館、学童保育クラブ等

### 3 接種方法

キャンセルが発生した場合、キャンセル待ちリストの優先順位の高い順に、接種会場の担当者から個別に連絡をする。

連絡がつかなかった場合や当日接種が困難な場合には、次の優先順位の高い方に連絡をする。